

## 【 第8回 ユースアジア選手権 】

2018年9月16日～9月26日 開催地:ヨルダン

### 試合結果報告 9月21日 (金)

JPN	VS	JOR
15	前半	7
18	後半	6
33	合計	13

#### 個人得点

名前	得点	合計
1 石 濱 壘		0
2 佐 藤 陽 太	3	3
4 可 児 大 輝	2	2
6 窪 田 礼 央	3	3
7 安 平 光 佑		0
8 清 水 裕 翔	3	3
9 吉 田 守 一	6	6
11 藤 川 翔 大	3	3
12 矢 村 裕 斗		0
14 山 口 直 輝	2	2
15 石 嶺 秀	6	6
17 朝 野 翔 一 郎		0
18 梶 山 瑞 生		0
20 石 田 知 輝		0
21 角 陸 輝		0
25 蔦 谷 大 雅	5	5
		33

#### 戦評

「私達は、今試されている。」東アジア選手権時のチームスローガンである。昨日のバーレーン戦で天国と地獄を経験し、逆転負けを喫したヤング彗星ジャパン。ヨルダン戦は、その敗戦のショックから立ち直り、目の前の敵としっかり戦うことができるかが焦点となる。世界選手権に出場するチームに相応しいか、私達は試されているのである。

スタートは、RW石嶺、RB蔦屋、CB佐藤、LB窪田、LW藤川、PV吉田、GK矢村の布陣でスローオフ。序盤、日本は吉田、窪田を中心とした強固なDFで、ヨルダンOFの勢いを止め、無理やり押し込んでくるシュートもGK矢村が無難に捌く。藤川、石嶺が速攻に走り、それを追う蔦屋、佐藤がシュートをねじ込む理想的なJAPANハンドボールで、前半を15-7で終える。

後半に入っても集中力を切らさず、山口、可児、吉田がアグレッシブなDFでヨルダンOFを分断。そこから清水が走り、PV吉田が暴れ、山口が上から叩き込み、順調に加点。変わって入ったGK石濱も好守を連発し、最終スコア33-13でゲームセット。

この試合の焦点であった「立ち直り戦うこと」にチーム一丸となってチャレンジしてそれを達成、大きく成長したといえる。明日は、世界選手権の出場権をかけてインドと対戦する。丁寧な準備をして、明日の一番に備えたい。

報告記入者 :

吉田耕平